

8県11市にまたがる8エリア23資産からなる「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」から、エリア3「荊山」を紹介します。構成資産は、伊豆の国市のシンボルである「荊山反射炉」です。

反射炉とは、石炭を燃やして発生させた熱や炎を炉内の壁や天井に反射させて一点に集中し、鉄を溶かすことのできる千数百度の高温にする金属溶解炉です。日本では、主に江戸時代末、西洋式の鉄製大砲を製造するために、各地に建設されました。

「明治日本の産業革命遺産」の構成資産には、荊山反射炉の他に、山口県萩市の「萩反射炉」、鹿児島県鹿児島市の「旧集成館反射炉跡」があります。いずれも産業分野では「製鉄・製鋼」、時期は1850年代の「試行錯誤の挑戦」に該当します。

荊山反射炉は、幕府直営の反射炉



▲夕景の荊山反射炉

文化財課
055(948)1428

として、荊山代官江川英龍の指揮のもと安政元(1854)年に着工。建設中、安政の大地震や責任者である英龍の死去などの困難に見舞われつつも、安政4(1857)年に竣工しました。操業中には、鉄製18ポンドカノン砲4門、青銅製野戦砲100門以上が製造されています。明治維新後は使われなくなり、荒廃してしまいましたが、地元の人々の保存運動により、明治41(1908)年に陸軍省による初の保存修理が行われ、その後複数回の大規模な保存修理を経て、平成27(2015)年7月8日、世界文化遺産に登録されました。

実際に稼働した反射炉としては、唯一現存する荊山反射炉。伊豆の国市を代表する文化財、そして世界遺産として、これからも末永く大切にしていきたいものです。

第37回 林 光珠 さん

荊山反射炉を愛する会 会長

愛する荊山反射炉を

みんなで盛り上げたい

荊山反射炉は、伊豆の国市が誇る世界遺産です。今回は、荊山反射炉を愛し、保存運動に取り組む市民団体『荊山反射炉を愛する会』会長の林光珠さんに話を聞きました。

平成24年、荊山反射炉の世界遺産登録を目指し、『反射炉応援団』が結成されました。世界遺産登録に向け、さまざまな取り組みに尽力。中でも大変だったのが、応援団の会員集めだそうです。登録認定の必須要件ではなかったものの、他の登録認定事例を参考にし、会員集めを行いました。「さまざまな会に出向き、

協力をお願いして署名を集めました。最終的に1万人ほどの会員数になりました」と話す林さんから当時の苦労がうかがえました。

「無事に世界遺産登録された時の喜びは格別でした。しかし、これで終わりではなく、より多くの人に関心を持ってもらいたい」。

世界遺産登録後、『反射炉応援団』から『荊山反射炉を愛する会』に名称を変更しましたが、残った会員は200人ほど。さらに、現在では約100人にまで減少しています。時間が経つにつれ、どうしても関心が薄れてしまいます。世界遺産になった平成27年度は70万人以上の来場者がありました。近年は10万人前後です」と寂しそうに話す林さん。

「今年で荊山反射炉の世界遺産登録10周年。これを契機に、市全体で盛り上げたい。愛する会の運営委員も募集しているので、参加してもらえたらとてもうれしい」。

伊豆の国市のシンボルとして市民から愛される荊山反射炉。あなたも『荊山反射炉を愛する会』に参加して、世界遺産登録10周年を盛り上げてみませんか。



▲10周年事業詳細



▲会員登録

ごみの分け方 出し方

VOLUME 64

家庭用廃食用油を資源化へ

市では家庭から出た廃食用油を収集し、資源化しています。

収集した廃食用油は、リサイクル工場でBDF(バイオディーゼル燃料)に精製し、軽油の代替燃料として重機やバスに利用することで、燃やせるごみの減量ならびに環境保全につながります。廃食用油のリサイクル・再資源化にご協力をお願いします。

出し方／大仁清掃センター、仮設長岡リサイクルセンター、荊山リサイクルプラザの3カ所にペットボトルまたは油が入っていたボトル(容器の中身が見えるもの)に入れて持ち込んでください。

取り扱うもの／家庭から排出されるてんぷら油で植物油に限定(パーム性は除く)

※未使用、賞味期限切れのものも取り扱います。

取り扱えないもの／固め

である油、鉱物油(エンジンオイルなど)、動物性の脂(バター、ラードなど)が入った油、事業所から排出される油、パーム油(ヤシ油)

注意事項／てんぷら粕などは取り除き、容器のふたをしっかりと閉めてください。



▲家庭用廃食用油の出し方例

廃棄物対策課 0558(76)8001

図書館 だより

開館時間(共通) 9時～17時30分

中央図書館 0558-76-5566

荊山図書館 055-949-8605



▲図書館HP

課題図書コーナーをご利用ください

設置期間／7月1日(火)～8月31日(日)

貸出条件／1人1回1冊まで。期間は1週間。多くの方が利用できるよう、ご協力をお願いします。

7月のおはなし会

中央図書館 12日(土)11時～
荊山図書館 26日(土)11時～
くぬぎ会館こども広場
17日(木)10時10分～
※事前申込不要



休館日も利用できる電子図書館

7月の休館日

中央図書館：毎週月曜日、22日(火)、25日(金)
荊山図書館：毎週水曜日、25日(金)

今月のおすすめ

一般
【中央】



父の回数
王谷晶／著
講談社

自分が父の実の子ではないと知った男子高校生と家族の変化を描く表題作。ほか、中年女性の同居、離婚した父、ふらっといなくなる母など、毛色の異なる家族の物語5編。

一般
【荊山】



日本と世界のダンゴムシ
飼う方&原色図鑑
佐々木浩之／著
電波社

こどもたちが大好きなダンゴムシの生態、つかまえ方、飼う方、殖やし方。図鑑ページでは約100種をきれいな写真で紹介。親子で楽しみ、自由研究にもピッタリ。